

オアシス通信



ダビンチと織部で 聖書の世界伝える

二月二十二日(日)午後二時から兄弟会主催のセミナーが開かれました。講師に岐阜県美術館長の古川秀昭氏をお招きし、「聖書と美術Ⅱ」「最後の晩餐」と「織部」Ⅱと題して講演会がもたれました。参加者は七十九名と、兄弟会のこれまでの最高の人出を得ました。

会に先立ち会衆で歌ったアメイジンググレイスの歌詞を引き合いに、先生ご自身の生い立ちから今に至るまでを語られました。その中で、恐れなくてよい心を神様は与えてくださること、神様の御心に委ねて歩むこと、神様は私たちが生まれる前から、私たちのご計画をもっておられることなど、神様を信じて歩むことのすばらしさを証されました。引き続きダビンチの最後の晩餐と織部について語られました。「最後の晩餐のイエス・キリストの言葉も弟子達は理解できず、後になって気づかされる。私たちも委ねること

が大切である。私たちの志などはほんの僅かなこと、自己実現も小さなこと。神様に委ね、御心におまかせすることが大切である。また、織部の作品に見られる、不完全さ、歪み。それらはだめなもの、できそこないを大事に、愛した、まさに聖書の世界と同じ。神の前にどうしようもない私にも関わらず、驚くべき生き方を与えてくださったという信仰があった。信仰による自由をもって「いた」など先生の話を通して、当時の人々の信仰の歩みに大きな励ましを受けることができました。

GPSスタート

二月八日より、GPS(祈りと賛美の時間)が始まりました。これから毎月第二日曜午後一時半から一時間、共に祈り賛美し、また、各自が奏楽の中で自由に祈り、聖書を開くことのできる時間も持ちます。どなたでもお越し頂けます。出入りも自由です。

ギデオンの働き

ギデオンマンの近藤高史兄(東海・北陸地区責任者)が22日の礼拝に出席され、ギデオン協会の働きの報告と個人的なお証しをしてくださいました。聖書配布のご苦勞と地道な種まきの中で与えられてる魂の収穫の喜び分かち合いました。



また、2年前のペルーでの大会参加と学校の聖書配布の様子をスライドで紹介して下さいましたが、競うように我も我もと聖書を求める子どもたちの姿が印象的でした。日本では街角で聖書配布をする取ってくださるが、ペルーではほとんど全員が受け取ったこととです。

花村姉結婚式



初回は十六名の参加者がありました。名前は、Gifun Prayer Station(岐阜純・祈りの場所)の英語の頭文字と車のカーナビの英語名(GPS)とを掛けています。カーナビが衛星電波を受信して、行き先と道筋を誘導してくれるように、GPSの参加者が主に祈る中で、御声を聞き、その導きの中を歩んでいくことができます。時となればと願います。(小山健)

去る二月十六日(月)午前十一時半より西澤竜兄(ホー



華(はな)ちゃんⅡ写真ⅣⅡが誕生しました。

原田希愛ちゃん 上田華ちゃん

プチャーチ名古屋のメンバーと花村真理子姉の結婚式が名古屋のレストラン(デュボン)において、丹羽博志牧師の司式により行われました。お二人の前途を主が祝福してくださいますように!

一月二十九日に原田育将兄、愛姉に第一子の女の子、希愛(のあ)ちゃんⅡ写真ⅣⅡが誕生しました。また、二月十四日に上田正雄兄、由美姉に第一子の女の子、華(はな)ちゃんⅡ写真ⅣⅡ